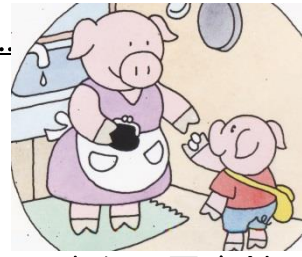


# 図書館だより

今月の絵柄：「こぶたのかばん」

佐々木マキ（金の星社）



発行 滝上町図書館  
電話 0158-29-3735

## ガラス乾板に写った たきのうえの黄金期 写真展



「記憶されている方もいらつしやるでしょう。111歳道内最高齢でこの世を去った、金光堂初代店主の五十嵐清さん。その五十嵐さんが遺したガラス乾板400枚を現像し、写真展を行うことになりました。

昭和の初め頃、まちの真ん中を流れる渚滑川を活用した林業で滝上

は大変栄えておりました。その頃の元気で華やかな滝上の生活がたくさん写真として残されていました。美しい日本庭園の前で撮った家族写真やお琴の発表会で美しいお着物を着たお嬢さんたちの写真：五十嵐さんは時計店のかたわら写真出張撮影も行っていたようです。今回は選りすぐりの60点を郷土館に展示します。ぜひ、この機会にご覧ください。

期間 5月10日(土)～6月30日(月)  
場所 郷土館 ロビー

時間 午前9時～午後4時30分まで  
観覧料 無料  
(元町 29・3499)

(別途、郷土館入場料はかかります。)

## 2014年本屋大賞 受賞作は図書館で!



全国の書店員が選んだ、一番売りたい本!それが本屋大賞。今年の大賞受賞作は和田竜さんの『村上海賊の娘』上・下巻に決まりました。和田竜さんは映画化もされた「のぼうの城」の作者でもあります。

小説に登場する村上水軍(海賊衆)は、中国地方に勢力を張る毛利水軍の大きな戦力になり、数々の合戦に参加しました。信長が一向大阪本能寺を叩くにあたり、信長は海からの攻略を企て、毛利氏に援軍を要請します。さて、毛利氏は信長について本能寺を叩くか、それとも上杉謙信と組んで信長を討つかの決断を迫られます。そんな戦乱の世に村上水軍の娘・景が飛び込んでいくというストーリーです。図書館に所蔵しています。

大賞受賞作の他にも、2位に選ばれた『昨夜のカレー、明日のパン』(木皿泉・著)、3位の『島はぼくらと』(辻村深月・著)も図書館にありますよ。

## こんにちは! 新・図書貸出員です。

この4月から図書館に新しい図書貸出員さんが入りました。西村郁子さんです。「子どもの本が大好きで、たくさんの本に囲まれてわくわくしています。」とのこと。

ぜひ、みなさん気軽に声をかけてくださいね!よろしくお願ひします。



## 新 刊 案 内

(小説)		(その他)
☆あなたの人生、片づけます	垣谷美雨	☆英語は「インド式」で学べ！ 安田正
☆花見弁当	和田はつ子	☆5分の使い方で人生は変わる
☆十津川警部捜査行 北国の愛、北国の死	西村京太郎	☆犯人はそこにいる 清水潔
☆逆流 越境捜査	笹本稜平	☆逆説戦国ミステリー オフィス五稜郭
☆刀伊入寇	葉室麟	☆腹だけ痩せる技術 植森美緒
☆冬天の昴	あさのあつこ	☆プロレス 覆面レスラーの正体
☆頼みある仲の酒宴かな	佐藤雅美	☆産後ケア なぜ必要か何ができるか
☆よるのふくらみ	窪美澄	☆許す力 大人の流儀4 伊集院静
☆峠道	上田秀人	☆意義あり！新国立競技場 森まゆみ
☆約束の海	山崎豊子	☆福島を生きる人びと 豊田直巳
☆波形の声	長岡弘樹	☆北海道野鳥ハンディガイド 大橋弘一
☆京都・大和路殺人事件	梓林太郎	☆摂食障害。食べて吐いて死にたくて
☆乗合船	北原亜以子	☆笑えるほどたちが悪い韓国の話
☆砂男／クレスペル顧問官	ホフマン	遠野なぎこ
☆フラニーとズーイー	サリンジャー	
☆黒川温泉殺人事件	吉村達也	竹田恒泰

ふれあいひろば編集委員がおおくりする

### 読書三得



『祈りの幕が下りるとき』

東野圭吾 (講談社)

加賀恭一郎シリーズ10作目。ドラマでは阿部寛さんがすっかりはまり役なので、読んでいてもわたしの脳内映像では阿部ちゃんが活躍していました。帯には「東野圭吾、全身霊の挑戦」と銘打っていました。が、それを裏切らない内容でした。

これまでぼんやりとしていた加賀恭一郎の「家族」の過去、特に母親の真実が事件に絡められ明らかになっていきます。また加賀刑事が「日本橋」にこだわり、日本橋署で住人と密接な関係を築こうと努力していた理由が明らかになります。加賀恭一郎の家族、そしてもうひとつの家族を軸に、事件の動機と発端は切なさあふれる内容で、犯罪の奥にある人間の情、欲望に深く分け入っています。

柴田トヨ (飛鳥新社)

『くじけないで』  
著者である柴田さんが90歳を過ぎてから始めたという詩の処女作品集。染み渡るやさしい言葉と、その言葉の奥にあるであろう強い想い、何度も読み返しその度に、私は優しさと勇気をいただいています。時には図書館でちよつとの時間に立ち読みで、時にはじっくりと静かな部屋で、そしてその時々のお人柄、笑顔が詩集の中から立ち上ってくるように、読み終えると「ステキな詩をありがとうございます」という気持ちになります。

(R・M)